



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

有明の月

校長 川添 倫義

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。休み中、厳しい暑さや新型コロナウイルス感染に係り、子どもたちは夏休みを元気に過ごしているかと教職員みんなで心配していました。今朝、正門で、登校してくる子どもたちと「おはようございます」と元気なあいさつを交わすことができ嬉しく思いました。2学期は、校外学習や行事が数多く予定されています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、子どもたちの心に残る行事となればと思っています。

7月7日（木）にスクールサポートネットワーク（SSN）協議会を開催し、各団体等の活動報告やコミュニティ・スクールの「あいさつ通り」や「光庭の改善」についての取組についても協議を行いました。

「あいさつ通り」は、7月11日（月）～13日（水）に企画委員（児童会）が主体となり、学校運営協議会委員の方々もおいでいただいて、「あいさつ運動」を行いました。2学期に予定している、小学生・中学生・保護者・地域の方々・教職員が一体となった「あいさつ運動」もよろしくをお願いします。

「中庭（光庭）の改善」は、6月30日（木）と7月9日（土）に、暑さ厳しい中でしたが、PTAの鈴木会長の陣頭指揮のもと、野口委員長を始めとした学校運営協議会委員の方々、PTAの方々、教職員で、草取り等の清掃、フロアのペンキ（ベース）塗りを、協働活動として行いました。週明け、「綺麗にしてくれてありがとう。」という子どもたちの声に、気持ちが和みました。10月頃に子どもたちも参加してもらって、デザインペイントを予定しています。

今年は、9月10日（土）が十五夜で満月の日にあたります。今年の始業式では、子どもたちに「ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば ただ有明の 月ぞ残れる」という藤原実定の一首を紹介しました。「向小の子どもたちがさらに成長できる2学期でありますように。」と願いながら十五夜の月を眺めたいと思います。